

## 中期経営方針 BREAKTHROUGH 2024

### 前中期経営方針（2019～2021年）

当社は、2019年を初年度とする3カ年の中期経営方針「INNOVATION 2021」を策定し、「事業ポートフォリオ改革」と「事業基盤強化」を基軸として、いかなる経済状況下においても、収益を確保できる事業基盤の確立を目指した活動を行ってまいりました。

2019年には、中国現地法人を設立し、欧米と合わせたグローバル展開の基盤整備を進めました。また、人造黒鉛電極の旺盛な需要により、利益は過去最高水準となりました。2020年には、新型コロナウイルスの世界的な流行による経済活動の停滞のため、業績が落ち込んだものの、2021年は半導体産業を中心に市況が回復し、ファインカーボン製品の販売が好調に推移した結果、改善が見られました。

このように、当社のポートフォリオ改革を進めた結果、継続的に収益を得ることができました。

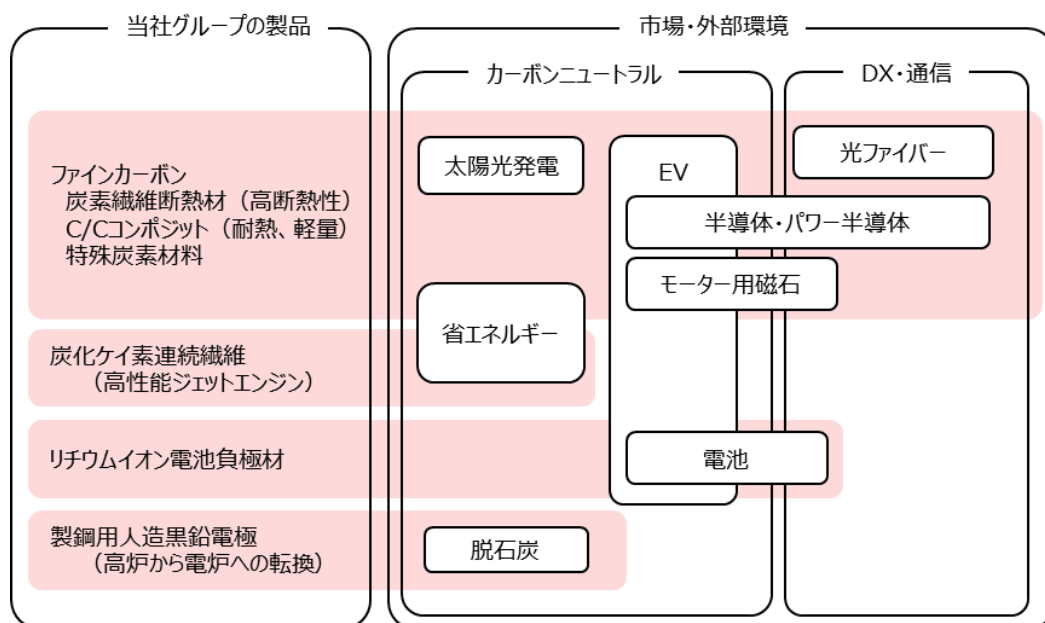
### 中期経営方針（2022～2024年）

前中期経営方針の結果を踏まえ、「カーボンニュートラル」および「DX」の時代に向けた、新たな中期経営方針「BREAKTHROUGH 2024」を策定いたしました。

本中期経営方針では、当社グループの更なる飛躍に向け、「事業構造改革」と「企業体質の改善」を基軸とし、現状を打破して高い目標を達成することを重要課題としております。全てのステークホルダーにご満足いただけるよう、収益性および企業価値の向上をはかるために全社一丸となって取り組んでまいります。

### 外部環境と日本カーボングループの製品

弊社グループは、下図のように太陽電池、半導体の製造部材供給や各種産業における省エネルギーなどを通して、カーボンニュートラル、DX社会の実現に貢献してまいります。



## 日本カーボングループ方針

### 1. 事業構造改革

カーボンニュートラルおよび DX といった成長市場にフォーカスし、当社事業のポートフォリオに適した戦略を展開し、安定した収益の確保を目指します。



- (1) 高温炉用炭素繊維製品のグローバル市場トップシェア堅持と更なる拡大  
成長産業向けに重点的に販売活動を展開  
C/C コンポジットの海外展開拡大  
積極的な経営資源の投入
- (2) 人造黒鉛電極およびリチウムイオン電池負極材の原価低減によるグローバル競争力強化  
製造プロセスの徹底的な見直しによるコスト削減
- (3) 新規事業の創出  
成長市場にフォーカスした新製品の開発
- (4) 特殊炭素材料の高収益化  
半導体産業を中心とした成長需要の取り込みと生産コストの低減
- (5) 炭化ケイ素繊維の需要に応じた事業展開  
市況に応じたフレキシブルな生産体制の構築

### 2. 企業体質の改善

継続的なヒューマンリソースの確保、育成を実行し、ダイバーシティなプロモーションを実行することで、組織力の向上を目指します。ニューノーマルとなったテレワークなどの働き方改革を進め、本社を含めた事業拠点の機能のありかたを見直し、永続性のある強い企業体質への改善を目指します。



- (1) ヒューマンリソースの確保、育成
- (2) ニューノーマル時代の働き方改革および活動拠点の効率化

### 3. ESG 経営の推進

持続可能な社会の実現と企業価値向上を目指し、「環境（Environment）」、「社会（Social）」、「ガバナンス（Governance）」を念頭に置いた ESG 経営を推進してまいります。

以上